



SUSTAINABILITY BOOK 2020

コアレックス サステナビリティ ブック



- 03 CORELEX グループ
- 05 CORELEXの事業領域
- 07 持続可能な社会への取り組み
- 09 2030年に向けた取り組み
- 11 企業統治
- 15 環境保全
- 23 社会貢献
- 27 行動憲章
- 29 BCP
- 31 プライバシーポリシー

にっぽんの暮ら紙

J A P A N E S E L I F E P A P E R

私たちコアレックスは独自の古紙再生技術によって、
地域や消費者の皆様に寄り添う紙づくりを実践しています。
それはつまり「さまざまな人生に関わる紙」。
未来につながる「にっぽんの暮ら紙」です。

「緑の地球を子どもたちへ」をテーマに
コアレックスグループは活動しています。

「紙」のリサイクルを担う企業である私たちコアレックスは、
モノづくりを通して皆様の暮らしや環境への貢献に取り組んでいます。
この「サステナビリティブック2020」では
コアレックスグループとステークホルダーの皆様との関わりや、
コアレックスグループのCSR活動に係る基本方針と
その取り組みをご紹介します。
今後もSDGsの達成と、サステナブルな社会への貢献のために
取り組みの強化をはかるとともに、
皆様からの期待に応えられる企業として、
企業価値の一層の向上に努めてまいります。

コアレックスグループ
代 表 黒 崎 暁



CORELEXのグループ	CORELEXの事業領域	持続可能な社会への取り組み	2030年に向けた取り組み	企業統治	環境保全	社会貢献	行動憲章	BCP	プライバシーポリシー
--------------	--------------	---------------	---------------	------	------	------	------	-----	------------

未来への思いを一つに紙づくりに新しい価値を

より環境に優しく、より高品質な紙をつくります。

私たちコアレックスグループは、その一つの理念の基でお互いに繋がり合い、紙づくりの革新的な技術を生み出し続ける総合エンジニアリング企業体です。

ホームページも
ご覧ください。



コアレックス三栄株式会社

世界に誇るゼロ・エミッションシステムを実現、進化し続ける総合エンジニアリング企業。

商号	コアレックス三栄株式会社
所在地【本社】	〒418-0037 静岡県富士宮市安居山775-1 TEL:0544-23-0303
【東京工場】	〒210-0866 神奈川県川崎市川崎区水江町6-10 TEL:044-281-1100
代表取締役社長	黒崎 昇
設立	1963年7月4日
資本金	3,780万円
業種	製紙機械総合メーカー（紙パルプ設備関連全般、抄紙機及び紙加工機関係、自動省力化装置、公害防止設備関係）衛生用紙製造



コアレックス信栄株式会社

独自の技術で古紙再生の常識を破ってきた、芯無しトイレットペーパーのパイオニア。

商号	コアレックス信栄株式会社
所在地【本社・本社工場】	〒421-3306 静岡県富士市中之郷575-1 TEL:0545-56-2513
代表取締役社長	黒崎 暁
設立	1961年5月30日
資本金	2,700万円
事業内容	衛生用紙製造



コアレックス道栄株式会社

最新鋭の古紙再生技術を駆使して、地域に根ざした資源リサイクルを推進。

商号	コアレックス道栄株式会社
所在地【本社・本社工場】	〒044-0077 北海道虻田郡倶知安町字比羅夫283 TEL:0136-23-2323
【富士工場】	〒417-0847 静岡県富士市比奈1280 TEL:0545-34-1096
代表取締役社長	小林 昌志
設立	1978年9月30日
資本金	9,000万円
業種	衛生用紙製造



JPコアレックス・ベトナム

ベトナムの経済成長と生活水準の向上に貢献する最新鋭リサイクルシステムの工場が稼動。

商号	JPコアレックス・ベトナム
所在地【本社・本社工場】	Đường B1, Khu B, KCN Phố Nối A, xã, TT. Bắc Yên Nhân, Văn Lâm, Hưng Yên TEL: +84 221 3587 065
代表取締役	松下 裕
設立	2009年6月
資本金	1,700万\$
業種	衛生用紙製造

地域をつなげるネットワークで
いつも安心・衛生的な
「紙の使える暮らし」を

各地にグループ会社を擁するコアレックス。

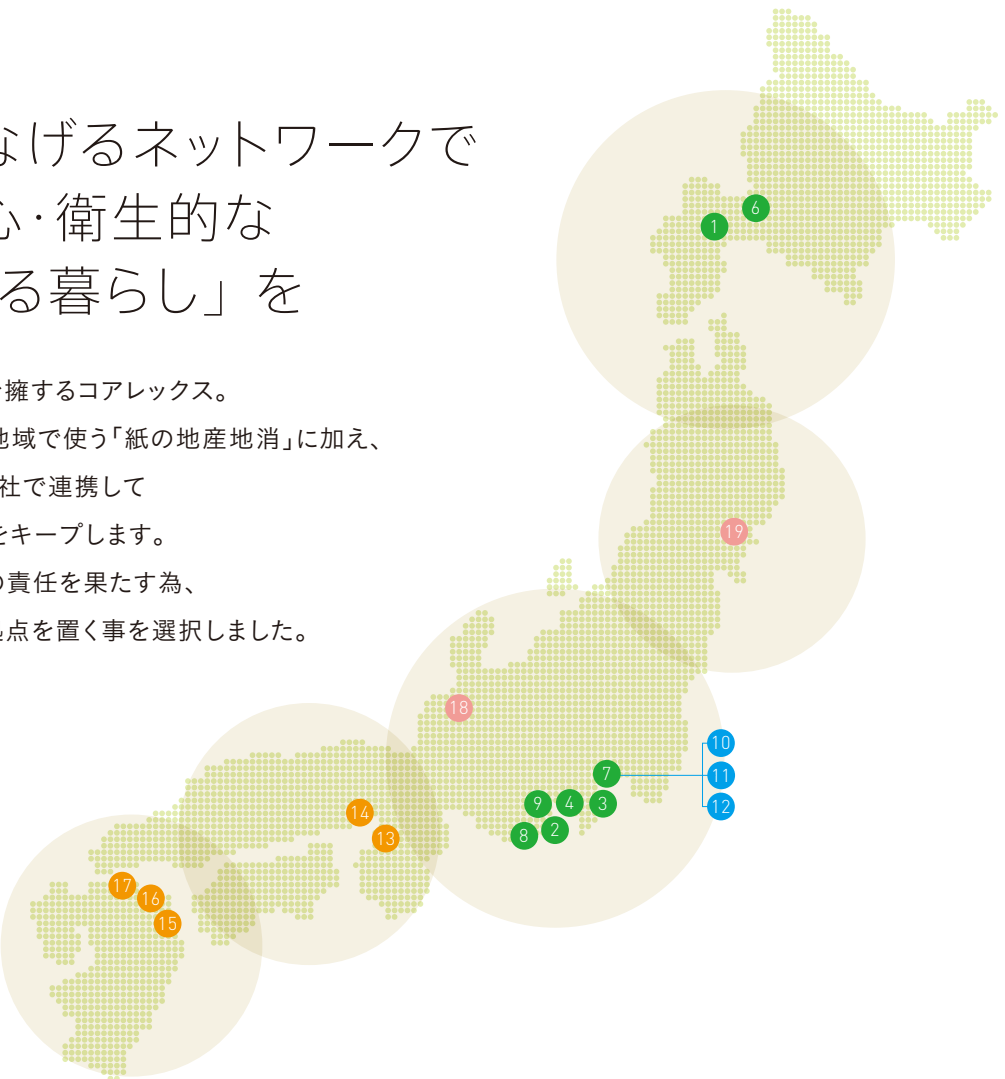
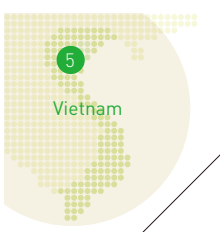
地域の古紙再生品を地域で使う「紙の地産地消」に加え、

もしもの災害時には各社で連携して

被災地への安定供給をキープします。

生活必需品メーカーの責任を果たす為、

私たちは各地に製造拠点を置く事を選択しました。



コアレックスグループ

製紙工場	販売	製紙関連設備全般／環境保全機器全般製造
① コアレックス道栄株式会社 本社工場	⑥ 札幌営業所	⑨ コアレックス三栄株式会社
② コアレックス道栄株式会社 富士工場	⑦ 東京営業所	
③ コアレックス三栄株式会社 東京工場	⑧ 静岡営業所	
④ コアレックス信栄株式会社		
⑤ JPコアレックス・ベトナム		

提携販社	提携工場	協力会社
家庭紙製品販売	⑬ 株式会社リバース	⑮ 株式会社北國製紙所
⑩ JPホームサプライ株式会社	⑭ 西日本衛材株式会社	⑯ 上山製紙株式会社
⑪ コアレックス株式会社	⑮ 大分製紙株式会社（本社工場）	
共通ブランド製品販売	⑯ 大分製紙株式会社（豊前工場）	
⑫ 株式会社オールコアレックス	⑰ 九州製紙株式会社	

その他
約53%

オール
コアレックス
グループ
約47%

家庭用再生紙
において
全国シェア
4割以上



CORELEXのグループ	CORELEXの事業領域	持続可能な社会への取り組み	2030年に向けた取り組み	企業統治	環境保全	社会貢献	行動憲章	BCP	プライバシーポリシー
--------------	--------------	---------------	---------------	------	------	------	------	-----	------------

循環型社会の理想をさらに一歩先へ 独自の「回収」「再生」「供給ネットワーク」

限りある資源を効率的に使いつつ、持続可能な形で再利用、再資源化。
これからの世界が目指す「循環型社会」の実現と更なる発展へ向けて、
製品の企画、提案から回収や供給のネットワーク整備まで、
私たちは企業活動の全てを通して紙資源のリサイクルに取り組んでいます。

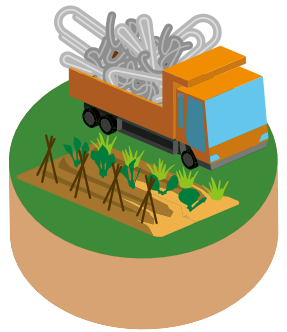
製造

人と環境に優しいものづくり
「暮らしの一部」として選んでもらえる、最高品質の白さと
柔らかさを追求。心地よく使うことがそのまま自然保護
につながる、一つ先の紙作りに取り組んでいます。



古紙回収から販売まで
紙の“地産地消”を目指す
各エリアに製造拠点と販売網を持つことで、
その地域内で古紙再生の全てを完結。災害
時には地域間で連携し、安定した商品供給
を叶えます。

供給



古紙を資源として
ムダなく再利用
再生紙製品をご提供するだけでなく、
生産時に出る副産物も、燃料や炭などへリサ
イクル。資源を最後まで有効に使います。

再生



回収

家庭やオフィスなどから古紙・雑がみを集める
日常生活で出る雑多な紙やオフィスペーパーなどを、
分別不要でまとめて回収。機密を守ったままりサイクルします。

企画

使う人にも、環境にも
やさしい製品を追求
使い心地はもちろん、取り替え
やすさ、省スペースや環境などにも
配慮し、付加価値のある「暮らし
に寄り添う紙」を生み出します。



提案

リサイクル+αで地域社会に貢献
行政や地域自治体へ、リサイクルを通じた環境への取り組みをご提案。
ブランドを冠にした商品の展開など、団体のPRにもつなげます。

CORELEXのグループ	CORELEXの事業領域	持続可能な社会への取り組み	2030年に向けた取り組み	企業統治	環境保全	社会貢献	行動憲章	BCP	プライバシーポリシー
--------------	--------------	---------------	---------------	------	------	------	------	-----	------------

古紙再生を通して、未来のためにできることを

コアレックスグループ 3つのキーワード

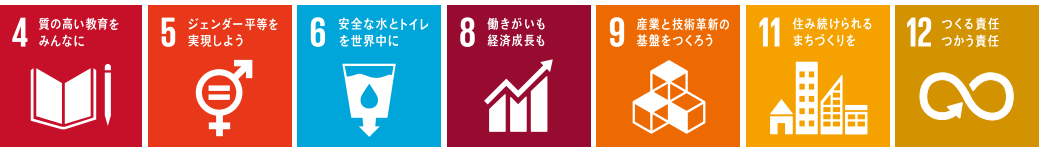


コアレックスグループは紙の再生技術によって、真に必要なとされるグループ企業を目指しています。
「企業統治」「環境保全」「社会貢献」と言う3つのキーワードをもとにCSR活動を推進し、
社会の持続的な発展に貢献します。

CORELEXグループの3つの領域での取り組み
ーコアレックスグループのSDGsー

コアレックスグループは、将来にわたってステークホルダーから支持され必要とされる企業となることを目指して参ります。当社を取り巻く社会課題・環境問題、特に国連が主導する「持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals:SDGs)」に積極的に取り組み、長期的に健全な社会を形成していくことが非常に重要であると捉えています。そこで、【企業統治】【環境保全】【社会貢献】を重点領域と定め、取り組みを進めて参ります。

企業統治SDGs貢献目標



環境保全SDGs貢献目標



社会貢献SDGs貢献目標



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
世界を変えるための17の目標



■持続可能な開発目標 (SDGs) とは

2015年9月に「国連持続可能な開発サミット」の成果文書として、「我々の世界を変革する: 持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択されました。アジェンダは、人間、地球および繁栄のための行動計画として、宣言および目標を掲げました。この目標が、17の目標と169のターゲットからなる「持続可能な開発目標 (SDGs)」です。今後のサステナビリティを考えるうえでの世界の共通言語として位置付けられるものといわれています。

2030年に向けたコアレックスのSDGs取り組み目標

2025年までに段階的に達成する取り組み

海洋プラ汚染問題解決に向けた、包装資材改革

- 13 気候変動に
関係する政策と
行動計画

I

ノーパレット輸送の為の包装機械を開発、
包装資材のリサイクル実現を促進する
- 12 つくばる責任
つなぐ責任

II

生分解性包装フィルム(環境配慮型のリサイクルラッピングフィルム)を
佐川印刷様とアライアンスを結び共同開発
廃棄物の大気・水・土壌への放出の削減に貢献する
- 12 つくばる責任
つなぐ責任

III

水性フレキソ印刷によるVOCレス包装フィルムの使用で
揮発性化学物質の排出抑制と、CO2排出量の低減、作業環境の改善を行う

現在の啓発・貢献活動を強化する取り組み

- 12 つくばる責任
つなぐ責任

I

再生紙を通じてエンカル消費の啓発活動
- 15 陸の豊かさも
守ろう

II

森林保護や地球温暖化(CO2排出量の削減)
といった社会問題に貢献
- 12 つくばる責任
つなぐ責任

III

ライフスタイルに関する情報や知識をイベントやSNS等を広く活用し、
人々があらゆる場所において正しい情報と知識を持てるように活動する。



ノーパレット化の開発

パレットの隙間がなくなり一度に運搬可能な数量が約20%増加、輸送に必要なトラックの便数の削減によって、CO2排出量の削減を図ります。また、ノーパレット包装機械・包装資材の生産により、人の手による作業効率を大幅に改善します。



包装資材改革の導入

『海洋プラ汚染』等の社会課題の改善に向け、生分解性包装フィルム(環境配慮型のリサイクルラッピングフィルム)の導入を予定しています。生分解性包装資材に使用期限を設けて製品化・販売することで、ターゲットの一つである「2025年までに、海洋ごみや富栄養化を含む、特に陸上活動による汚染など、あらゆる種類の海洋汚染を防止し、大幅に削減する」に貢献します。



VOCレス印刷・ VOCレス包装フィルムの利用

製品や包装用資材に含まれるVOC(揮発性有機化合物)排出のリスクを削減します。大気中へのVOCの排出を抑制することで、環境と作業従事者の健康を守ります。



CORELEXのグループ	CORELEXの事業領域	持続可能な社会への取り組み	2030年に向けた取り組み	企業統治	環境保全	社会貢献	行動憲章	BCP	プライバシーポリシー
--------------	--------------	---------------	---------------	------	------	------	------	-----	------------

| グループ方針の浸透 | CSR行動憲章 | コンプライアンスの遵守 | ISO認証取得 | BCP策定 |



グループ方針の浸透

「緑の地球を子どもたちへ」を永遠のテーマに、目指すのは紙の再生技術で真に必要とされる企業です。

■ 古紙100%による資源節約

古紙1tは立木(直径14cm／高さ8m／樹齢30年)20本分のパルプに相当します。この立木20本は1年間で約280kgのCO₂を吸収するため、森林保護による資源の節約や地球温暖化の防止にもつながります。



自動車で北海道～広島までを
(約1,800km)
走行した場合のCO₂排出量
※15km/ℓの場合



立木20本の
CO₂年間吸収量
※約280kg



温暖化の
防止



CSR行動憲章

コアレックスグループ企業行動憲章の宣言を行いました。

■ 最新鋭設備

国(経済産業省)・静岡県・富士市の企業立地補助金を受け、最新鋭設備を導入。難再生古紙の再生処理技術の確立・品質の向上・生産効率の向上・環境負荷の低減を実現しています。



■ クリーンパートナー事業

コアレックス信栄は、富士市のふじクリーンパートナー事業である美化活動に、積極的に参加しています。



コンプライアンスの遵守

法令の遵守はもとより、国内外・社内外のルールや社会規範を遵守します。

■ 安全教育

KYT(危険予知トレーニング)全従業員及び関係者を対象に安全教育を定期的実施し、労働災害の発生を抑制しています。



KYT研修

ISO認証取得

ISO/IEC27001(情報セキュリティ：JQA-IM1468)の認証を取得しています。

■ ISO27001

ISO27001認証を取得しています。



CORELEXのグループ	CORELEXの事業領域	持続可能な社会への取り組み	2030年に向けた取り組み	企業統治	環境保全	社会貢献	行動憲章	BCP	プライバシーポリシー
--------------	--------------	---------------	---------------	------	------	------	------	-----	------------

| グループ方針の浸透 | CSR行動憲章 | コンプライアンスの遵守 | ISO認証取得 | [BCP策定](#) |

BCP策定

大地震などの緊急時における対策として

コアレックスグループ全体のBCPの基本方針を制定しています。

BCP/備蓄ロール

災害発生時に、NPO法人緊急災害備蓄推進協議会を通じて、備蓄用トイレトペーパーの緊急支援を行いました。また、今後の災害に備え、トイレトペーパーの備蓄に関する啓発活動を実施しています。



トイレトペーパーの備蓄推進キャンペーン

【自主支援】

- ・平成7年1月17日 阪神淡路大震災
- ・平成19年7月16日 新潟中越地震
- ・平成30年6月28日～7月8日 西日本豪雨
- ・平成30年9月6日 北海道胆振東部地震

【政府要請】

- ・平成23年3月11日 東日本大震災
…トイレトペーパー150万ロール
- ・平成28年4月14日 熊本地震
…備蓄用トイレトペーパー501ケース

令和元年10月18日に上陸した台風19号における支援活動

【自主支援】

- 令和元年10月13日～25日
- ・トイレトペーパー 5,278ロール
 - ・ティッシュペーパー 13,800個
 - ・アルコール除菌剤 150本
 - ・水(500ml) 648本



【政府要請】

- 令和元年10月15日～24日
- ・トイレトペーパー 11,256ロール
 - ・ティッシュペーパー 3,960個
 - ・タオルペーパー 1,000個



災害派遣トイレネットワークプロジェクト

平時の防災対策として、富士市の災害派遣トイレネットワークプロジェクト「みんな元気になるトイレ」のトイレトレーラー導入を支援いたしました。



災害時施設利用協定

コアレックス信栄は、地域住民の「いっとき避難所」として富士市と施設利用に関する協定を締結しています。



【近隣住民避難】

台風19号発生時に避難場所として施設を開放しました。気象警報レベル3の発令以降、計14名の方がコアレックス信栄に避難されました。



【義援金】

台風19号被災地への義援金

- ・令和元年11月21日 静岡県熱海市
- ・令和元年11月26日 静岡県伊豆の国市
- ・令和元年12月12日 長野県長野市



CORELEXのグループ	CORELEXの事業領域	持続可能な社会への取り組み	2030年に向けた取り組み	企業統治	環境保全	社会貢献	行動憲章	BCP	プライバシーポリシー
--------------	--------------	---------------	---------------	------	------	------	------	-----	------------

| LCAの導入 | リサイクル率の向上 | 独自の古紙再生システム | 芯なしロール開発 | 浄化システム | 中水利用 |
| サーマルリサイクルの導入 | バイオマスボイラーの導入 | ISO認証取得 | FSC森林認証 |



環境保全

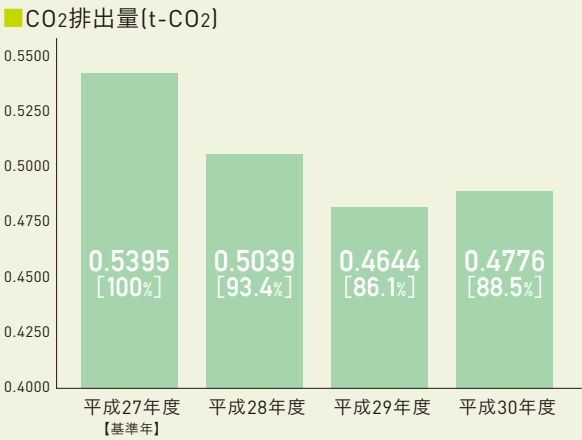
持続可能な地球環境への
取り組み

LCAの導入

製品の製造・使用・廃棄あるいは再使用されるまでの全ての段階を通して、
環境にどんな影響を与えたのかを評価し、環境負荷低減を推進します。

信栄工場竣工から現在までの環境負荷量に関する推移

ティッシュペーパーの需要拡大で、製造割合が平成29年度の14.4%から
平成30年度には17.1%まで増加※したため、CO₂排出量が増加しています。



※コアレックス信栄

※【2018年】抄紙生産量合計:51,417,470kg/ティッシュ生産量:7,397,572kg
【2019年】抄紙生産量合計:52,604,125kg/ティッシュ生産量:8,205,805kg
『坪量(g/m²)=1㎡あたりの重さ』トイレットペーパーシングル=約17.5g トイレット
ペーパーダブル=約15.5g

2019年度CO₂排出割合



CORELEXのグループ	CORELEXの事業領域	持続可能な社会への取り組み	2030年に向けた取り組み	企業統治	環境保全	社会貢献	行動憲章	BCP	プライバシーポリシー
--------------	--------------	---------------	---------------	------	------	------	------	-----	------------

| LCAの導入 | リサイクル率の向上 | 独自の古紙再生システム | 芯なしロール開発 | 浄化システム | 中水利用 |
| サーマルリサイクルの導入 | バイオマスボイラーの導入 | ISO認証取得 | FSC森林認証 |

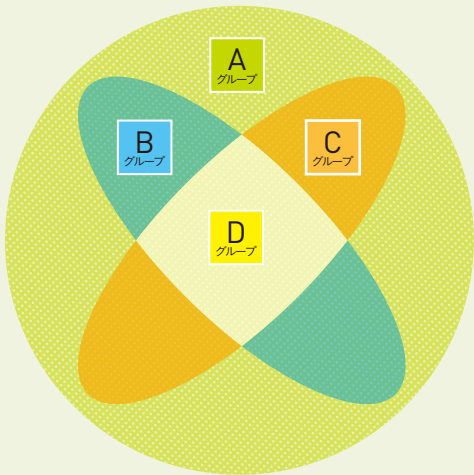
リサイクル率の向上

ゼロ・エミッション*工場を推進。機密書類やミックスペーパー、
雑がみなどの再資源化でリサイクル率を向上します。

■ より多くの紙製品を「紙源」に

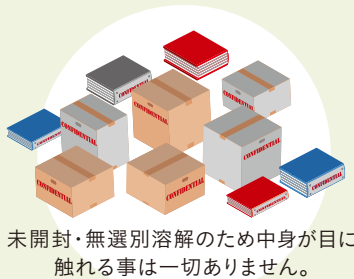
「紙は紙から」。この信念のもと、私たちは技術の進化によってリサイクル可能な紙の範囲を
を広げてきました。異物の付いた物から加工された物まで、日常生活で使うほとんどの紙
をまとめてお出しいただけます。

■ 雑がみ回収許容領域図



■ 機密文書の再資源化

独自の異物除去システムにより、金属やプラスチックなどが
混ざった状態でも、人の手による分別は不要。機密の漏洩を
防ぐとともに、処理コストを大幅に削減します。



未開封・無選別溶解のため中身が目に
触れる事は一切ありません。

* ゼロ・エミッションとは？

一つの産業の副産物を別の産業で有効活用し、社会全体で資源を循環させようという取り組み。全ての原材料に最後まで
価値を見だし、廃棄物ゼロを実現する事で、限られた資源を長く利用し続ける事を目的としています。

独自の古紙再生システム

難再生古紙再生システムの導入により、焼却されていた雑がみ・機密文書などの再資源化を実現しました。
事業活動を通して、CO₂排出量の削減や焼却による環境負荷の軽減に貢献します。

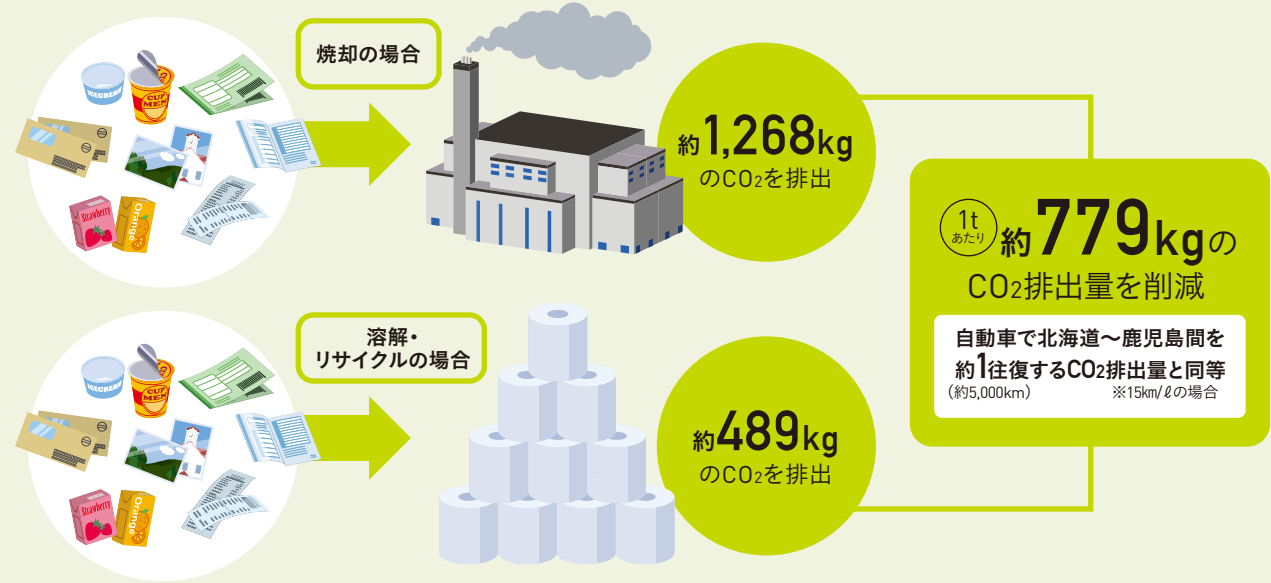
■ CO₂排出削減試算[※]（紙パックを例として試算）

古紙1tあたりの焼却時に発生するCO₂排出量と、溶解リサイクルに伴うCO₂（設備稼働時・運搬時等）排出を試算したところ、
古紙1tあたりのCO₂排出は、「焼却の場合=約1,268kg」、「溶解・リサイクルの場合=約489kg」結果、1tあたり約779kgのCO₂排
出量の削減に繋がる結果となります。

※出典：環境省請負調査平成16年度 容器包装ライフ・サイクル・アセスメントに係る調査事業報告書



■ 古紙1tあたりのCO₂発生量の比較



■ コアレックスグループ月間生産能力及びCO₂排出削減量試算

コアレックス信栄：トイレットペーパー…約3,600t/月	ティッシュペーパー… 約900t/月
コアレックス三栄：トイレットペーパー…約4,500t/月	
コアレックス道栄：	
〈本社工場〉トイレットペーパー…約1,300t/月	ティッシュペーパー…約 300t/月
〈富士工場〉トイレットペーパー…約1,200t/月	

月 間
約 **9,192t** の
CO₂排出量を削減

| LCAの導入 | リサイクル率の向上 | 独自の古紙再生システム | 芯なしロール開発 | 浄化システム | 中水利用 |

| サーマルリサイクルの導入 | バイオマスボイラーの導入 | ISO認証取得 | FSC森林認証 |

芯なしロール開発

環境資源の保護、長巻による省スペース化、輸送による温室効果ガス排出の低減に貢献しています。

資源保護に寄り添った製品開発

有芯部分を独自技術によりペーパー部分で代用し、芯部分の資源の節約に成功した芯なしロール『コアレス』（生協では『コアノン』）は独自のギザギザ穴による穴形状の成型によって最後まで無駄なく使え、ゴミとして排出されません。

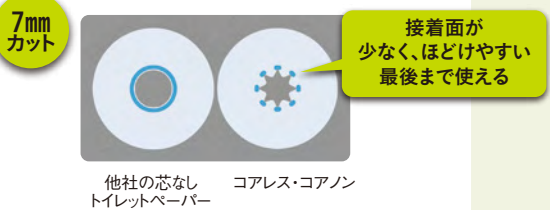
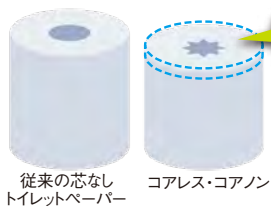


紙箱に使用されていた資源の保全及び、使用後のゴミを減らすビロー包装ティッシュを採用しています。



コアレス・コアノン

- ・再生紙100%
- ・紙幅を狭くして資源節約
- ・ギザギザ穴だから、最後まで剥がれやすい&つぶれにくい



CORELEX POINT

トイレットペーパー シングル・ダブル比較表

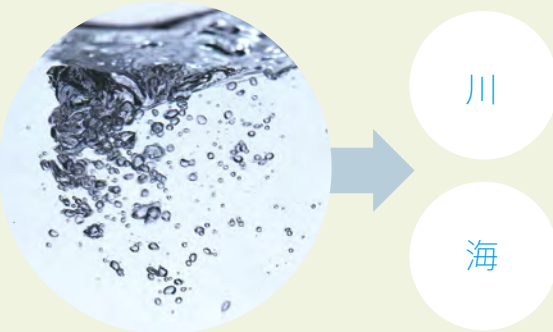
比較項目	シングル	ダブル	ダブルの優位性
ジャンボロールからの巻き方			
1R当たりの長さ	60m	30m	坪量(g/m ²)・溶解度・生産時の原料使用量・エネルギー使用量等で、シングルよりダブルの方が全てにおいて環境負荷が少なく、生産効率も高いため、より環境に優しいことがわかります
1R当たりの重さ	124g	107g	2枚に重ねる事で、空気層が生まれ柔らかく肌触りが良くなります
坪量	17.5g	15.5g	シングルより軽いため、輸送時のCO2排出量が少なくてできます
ほぐれやすさ	20秒前後	10秒前後	薄ければ薄いほど、柔らかく仕上がる紙の性質を活かすことができます
使用電力	100%	65%	シングルよりほぐれやすいため、節水トイレでも溶けやすく、配管が詰まりにくくなります
			製造にかかるエネルギーも削減できます

※紙幅107mmの場合

浄化システム・中水利用による水資源保護

環境に配慮した水資源活用

使用した水は、高度な浄化処理を経て、完全にきれいにしてから、川や海へ放流します。



※コアレックス三栄 東京工場

中水の利用

世界で初めて工場用水として再利用。
自社基準及び国内基準に準拠した排水管理を行なっています。



サーマルリサイクルの導入

ヒートリカバリーシステム

従来産業廃棄物として処理せざるを得ない、古紙を再生する際に発生するペーパースラッジや廃プラスチック(スクリーン粕)を回収ボイラーで焼却し、その際に発生する蒸気を熱利用するサーマルリサイクルを行っている。また、焼却後に発生する燃料灰についてもセメント工場の原料として再利用している。



※コアレックス三栄 東京工場

CORELEXのグループ	CORELEXの事業領域	持続可能な社会への取り組み	2030年に向けた取り組み	企業統治	環境保全	社会貢献	行動憲章	BCP	プライバシーポリシー
--------------	--------------	---------------	---------------	------	------	------	------	-----	------------

| LCAの導入 | リサイクル率の向上 | 独自の古紙再生システム | 芯なしロール開発 | 浄化システム | 中水利用 |
| サーマルリサイクルの導入 | バイオマスボイラーの導入 | ISO認証取得 | FSC森林認証 |

バイオマスボイラーの導入

カーボンニュートラルによる資源保護

従来の重油の炉筒煙管ボイラーから木質系バイオマスボイラーへ転換したことにより、カーボンニュートラルの原理から7,700t-CO₂の削減に繋がる。



※コアレックス道栄

多目的環境資材 ブラックライト®



土壌改良効果

- 水はけを良くし、土が降下するのを防ぎ、土中の微生物が生存しやすい環境を作ります。
- 粘りの良い植物を育てます。



消臭効果(畜舎内の環境改善など) 堆肥化促進効果

- 下駄箱・カビ・生ゴミなどの悪臭を吸着し消臭します。
- 家畜糞尿や生ゴミの堆肥化を早めます。



保温断熱効果

- 溶解された鉄鋼の熱を冷めにくくします。



融雪効果

- 黒い粒が雪面に混ざり日光を浴びることで融雪効果を発揮します。
- 鉄分を含むので効果も上がります。



床下調湿効果

- 従来の木炭と比較して、優れた調湿効果があります。



ISO認証取得

組織の品質活動や環境活動を管理するための規定

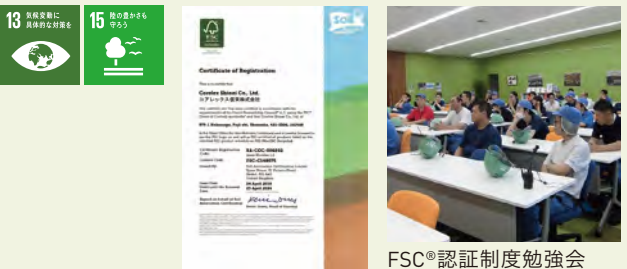
1996年に「ISO14001」を2006年に「ISO9001」認証取得。毎年の定期更新審査により2020年2月に更新しています。



FSC® 森林認証

森林管理協議会による森林認証制度

FSC®(森林管理協議会)は、森林の管理や伐採が、環境や地域社会に配慮して行なわれているかどうかを、信頼できるシステムで評価し、それが行なわれている森林を認証します。そして、その森林から生産された木材や木材製品(紙製品を含む)に、独自のロゴマークを付け、市場に流通させています。

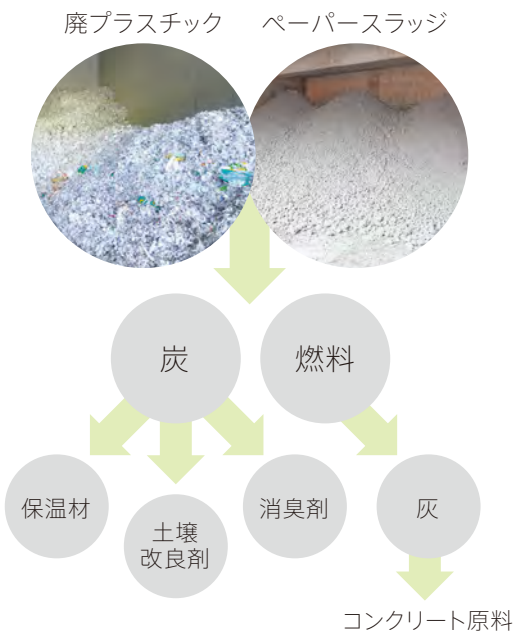


FSC®認証制度勉強会

CORELEX POINT

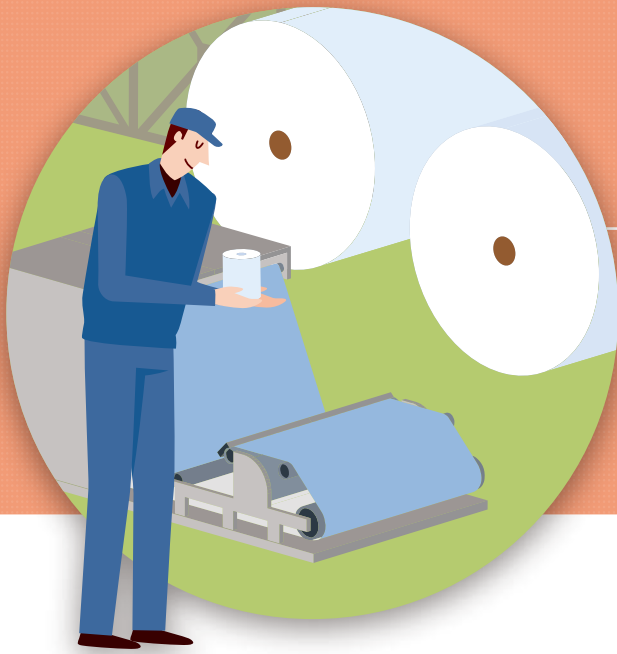
工場での様々な資源循環

紙としてはリサイクル不可能な廃プラスチックなどの副産物も、独自の技術で燃料や炭として再資源化。グループの工場間であます所なく活用し、徹底して資源のムダをなくします。燃料として副産物を再利用した後、残った灰は更にコンクリートの原料に、ペーパースラッジから製造される炭は製鋼用の保温材や土壌改良剤、消臭剤など様々な用途に使われています。製品だけでなく資源にも最後まで責任を持つ事が、これからの企業の在り方だと私たちは考えます。



CORELEXのグループ	CORELEXの事業領域	持続可能な社会への取り組み	2030年に向けた取り組み	企業統治	環境保全	社会貢献	行動憲章	BCP	プライバシーポリシー
--------------	--------------	---------------	---------------	------	------	------	------	-----	------------

｜ **リサイクルの推進** ｜ 働きやすい職場環境・ジェンダー平等への取り組み ｜ 福祉作業所への業務委託 ｜ 各種団体の活動支援事業 ｜
｜ NPO団体との連携 ｜ 非常時の備え ｜



社会貢献

すべてのステークホルダーに
貢献する活動

リサイクルの推進

各種団体とのイベント共催、地域ブランド製品の展開などを通して、
環境意識の向上を推進します。

リサイクル便事業の支援

日本テトラパック(株)様のリサイクル便事業を支援
しています。家庭と再生紙メーカーを直接つなぐ
システムにより、焼却処分されていたアルミ付紙容器
の回収・資源化を実施、CO2排出量の削減にも貢献
しています。



ベルマーク事業の推進

日本テトラパック(株)様のベルマーク事業に協力
しています。テトラパック社製の紙容器を回収、資源
としてリサイクルしています。



WOWOW NEC presents FUJI&SUN' 19

開催場所：富士山こどもの国 5月11日(土)-12日(日)
全国各地から人が集まる音楽の祭典、「FUJI&SUN'19」
にて、紙資源の回収とリサイクル啓発物の配布、アン
ケートを実施しました。イベントは2日間で合計7,000名の
来場者があり、アンケートには500名以上の方にご協力
いただきました。



エコステーション(ゴミ
回収ブース)で分別さ
れた紙資源を回収し、
リサイクルの輪を回す
活動を行いました。

ふるさと納税返礼品：地産地消

富士市ふるさと納税返礼品とし
て「プレミアムシンラ」を提供
しています。『地産地消』を推進
し、地域社会に還元しています。



ふれあい紙まつり

自社開催のイベントにおいて、
環境に優しい製品の情報と使
い心地を知っていただく機会
を積極的に設けることによっ
て、消費者の購買決定要因の
一つになるようなエシカル啓
発活動を行っています。



工場見学

工場見学を様々な人々に体験していただくことで、国内
外へ広く古紙再生技術と環境負荷低減の施策を普及
しています。また、参加者の環境への取り組みの意識向
上のお手伝いをしています。新工場(2015年10月竣
工)の工場見学は、これまでに約1万人の方々が参加し
ています。



【うち小学校・児童施設等の参加者数の実績】
2016年／9校 564名 2017年／16校 1,265名
2018年／12校・2施設 981名
2019年／18校・2施設 1,009名



CORELEXのグループ	CORELEXの事業領域	持続可能な社会への取り組み	2030年に向けた取り組み	企業統治	環境保全	社会貢献	行動憲章	BCP	プライバシーポリシー
リサイクルの推進 働きやすい職場環境・ジェンダー平等への取り組み 福祉作業所への業務委託 各種団体の活動支援事業									
NPO団体との連携 非常時の備え									

働きやすい職場環境・ジェンダー平等への取り組み

さまざまな理由で、就労に困難を抱えている人の雇用を促進し、社会参加を支援しています。

発展途上国の雇用創出と技術提供

2009年6月にJPコアレックス・ベトナムを設立。
現在も富裕層と貧困層の格差が強く残るベトナム国（ハノイ）へ工場を設立することで、持続可能な雇用の提供と古紙再生施設、浄水技術や衛生管理技術の提供を行い、社会的差別や格差をなくす為に貢献しています。

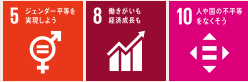


“行動憲章：《人権の尊重》を掲げています”



「次世代育成対策推進法」に基づく策定

次代の社会を担う子どもが健やかに生まれ、育成される環境を整備するために、企業の責務を明らかにすることを目的として「一般事業主行動計画」を策定しています。

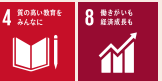


福祉作業所への業務委託

障害者団体へのエコリサイクルペーパー事業の業務委託を行い、就労と環境教育に貢献しています。

障害者の就労支援

回収した資源から作られたリサイクルトイレットペーパーの巻紙作業を、福祉作業所へ業務委託しています。



各種団体の活動支援事業

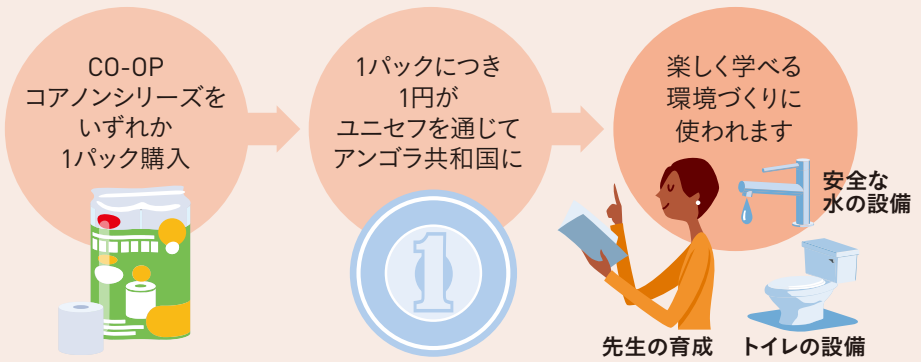
地域の環境負荷低減の取り組みを支援、リサイクル・ネットワークを構築しました。

CO-OPコアノンスマイルスクール プロジェクト

CO-OPコアノンロールやCO-OPワンタッチ芯までロール（トイレットペーパー）を1パックお買い上げいただく度に、アンゴラ共和国の「子どもにやさしい学校づくり」のために1円が募金されるプロジェクトに参画しています。



■アンゴラに届くまで



【2010年11月1日から活動をスタート】 第1期～第9期合計の募金額：105,307,738円

NPO団体との連携

エシカル消費の普及・啓発活動と、工場見学・勉強会などを共催しています。

エシカル消費啓発活動

各種団体とのイベント共催において、環境に優しい製品の情報提供を行い、各種啓発活動を通じて、エシカル消費意識の向上を推進します。



NPO法人持続可能な社会をつくる元気ネット
主催：自治体意見交換会・消費者懇談会

EVや非常電源の導入

災害時の非常用電源や各種イベントでの電力供給として「リーフ」のバッテリーから「パワー・ムーバー」を介して電力を供給することが出来ます。2019年9月の台風15号の際にも日産様より53台のリーフがパワー・ムーバーと共に被災地に派遣されました。



日産リーフ



パワー・ムーバー

CORELEXのグループ	CORELEXの事業領域	持続可能な社会への取り組み	2030年に向けた取り組み	企業統治	環境保全	社会貢献	行動憲章	BCP	プライバシーポリシー
--------------	--------------	---------------	---------------	------	------	------	------	-----	------------

コアレックスグループ行動憲章

1.<事業活動を通じての貢献>

事業活動の中核となる雑がみの回収によって、森林保護や地球温暖化といった社会問題に貢献すると共に、古紙100%で生産される製品の地産地消を推進することで、人々の暮らしを支えて参ります。

- 社会に必要とされる企業として存在し続ける為に、コアレックスグループが実現化した難再生古紙の再資源化技術を広く普及し、全国各地で抱えるゴミ問題を大きく改善させることが不可欠と考えます。このためコアレックスグループは、CSR活動としての雑がみ回収を重要な経営課題と位置づけ、社会とともに環境問題へ取り組む企業を目指します。

2.<法令等の遵守の徹底>

法令の遵守及び、国内外、社内外のルールや社会規範を遵守し、常に企業倫理に則して行動します。

- コンプライアンスは、法令の遵守・社内ルール・社会的な常識や良識などの社会規範などを含めて判断を行ないます。そして、コアレックスグループは、常にコンプライアンスを最優先に行動をします。

3.<自由・公正・透明な事業活動>

政治や行政と健全かつ正常な関係を保ち、事業活動は自由かつ公正な競争を基本に、透明で適正であることを遵守します。さらに、市民社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力及び団体とは、一切関係を遮断します。

- 自由・公正・透明な事業活動は、経済活動の基本秩序であり、企業にとっては最重要規範です。コアレックスグループは、独占禁止法や各国競争法の遵守、知的財産権の保護、贈収賄など不適切な金銭等の授受の排除、反社会的勢力との関係断絶などに対し、あらゆる事業活動の局面で適切な判断を行ないます。

4.<ステークホルダーからの信頼の獲得>

個人情報や顧客情報ははじめとする重要な情報を適切に保護・管理し、ステークホルダーからの信頼の獲得に努めます。また、あらゆる国・地域の多様なニーズに対応し、安心・安全な商品・サービスを提供します。

- ステークホルダーの信頼によって、企業の持続的な成長が果たされます。コアレックスグループは、ステークホルダーとの良好かつ誠実なコミュニケーションを積み重ね、更なる信頼の獲得に努めます。

5.<健康・安全で働きやすい職場環境の確保>

全従業員それぞれの多様性を尊重し、全員が健康・安全で働きやすい環境を築くことで、心身のゆとりと豊かさを実現します。

- 社員一人一人が持てる能力を最大限発揮できる職場環境の確保が、企業運営に求められていると考えます。コアレックスグループは、“人材”が企業経営の柱となっているという認識の下、人種・信条・性別・国籍・年齢・障害の有無などを問わず、社員の多様性を尊重し、かつ、心身が健康かつ安全に保たれるように努めます。

6.<人権の尊重>

あらゆる事業活動において、基本的人権を尊重します。また、差別的な取り扱い、児童労働、強制労働は認めません。

- 性別(ジェンダー)、年齢、民族、人種、宗教、信条等による差別や差別への加担はせず、コアレックスグループは、事業活動に関係する社内外のあらゆる人々の人権を尊重します。

7.<環境保全活動の推進>

地球環境の保全と資源の保護に努め、豊かで住みやすい社会の構築に貢献します。

- 我々コアレックスグループは、環境保全が地球規模の課題となっている現状を踏まえ、環境負荷低減の取り組みを推進します。また、企業には事業活動における環境への悪影響を出来る限り小さくしていくことが、強く求められています。

8.<エシカル消費とパートナーシップの強化>

コアレックスグループの事業活動によって生じる社会的影響の説明責任を果たすとともに、双方向の建設的な対話から共通の社会的課題に取り組み、持続可能な開発のためのグローバル・パートナーシップ強化に努めます。

- あらゆる事業活動において、基本的人権を尊重します。また、あらゆるステークホルダーとのコミュニケーションを図るとともに、説明責任を果たします。また、エシカル消費の概念を共有する事で社会的課題に取り組む為の信頼関係を強化いたします。

9.<社会や地域との調和>

「良き企業市民」として、社会や地域において積極的に社会貢献活動を行ないます。

- 企業は社会を構成する市民の一員であり、社会との関わりの中で事業活動を営んでおります。コアレックスグループは、「社会の一員として社会に役立つ事業活動を行う」という基本認識の下、事業を通じた社会への貢献はもちろんのこと、地域社会における市民の一員として求められる役割を認識した上で、積極的に行動します。

2019年1月1日 制定
コアレックスグループ
代表 黒崎 暁

CORELEXのグループ	CORELEXの事業領域	持続可能な社会への取り組み	2030年に向けた取り組み	企業統治	環境保全	社会貢献	行動憲章	BCP	プライバシーポリシー
--------------	--------------	---------------	---------------	------	------	------	------	-----	------------

コアレックスグループBCP

万一の事態におけるコアレックスグループのBCP(事業継続計画)

コアレックスグループでは、生活必需品である家庭紙を主に製造・販売しており、大地震やテロ、パンデミックなどの緊急時において、これらの製品を消費者に安定的に供給するという企業責任があります。

このような緊急事態が発生し、事業継続が困難となった場合を想定し、BCP(事業継続計画)を整備する必要が高まっていると認識しております。

そこで、グループ各工場の操業が困難になった場合における対策として、グループ全体的なBCPの基本方針として取りまとめました。

当社グループでは、生活必需品に関する流通及び一般消費者の方々に、当社のBCPの内容をできる限り知っていただく事は有効であると考え、個人情報等の面で支障にならない範囲において、以下のとおり公表する事といたしました。

万一の緊急時においても、皆様に安定的に商品を提供できるよう、様々なケースを想定した事業計画づくりを進めてまいります。

2017年4月1日 改訂
2019年1月1日 改訂
2020年1月1日 改訂

コアレックスグループ 代表 黒崎 暁

対象とする事象		大規模地震 (震度5強以上)	パンデミック (新型インフルエンザ等の流行)	その他災害時 (火災・水害等)及び緊急時
想定されるリスク		■建物及び機械の利用不能 ■従業員の被災 ■物流の停止 ■原料及び資材の調達不能	■従業員への感染の蔓延 ■従業員の出勤不能 ■欠勤者増加に伴う操業不能 ■操業不能による在庫減少	左記以外の災害(火災・水害等)及び緊急事態
対策本部	対策本部の設置	緊急地震速報発令時 または大規模地震発生時	従業員及びその家族等の 感染者が増加した場合	上記以外の災害(火災・水害等)及び緊急事態発生時
	対策本部の組織	対策本部長:社長／対策本部員:経営企画戦略会議 事務局員:各工場責任者、各営業所長、総合企画管理室		
	対策本部設置の報告	対策本部設置の事実及びその後の経過について、グループ全従業員及び関連企業へ報告する。		

災害時等緊急連絡先

E-mail	携帯電話	固定電話(工場)
h-sano@b-web.co.jp(対策本部)	090-5451-3306(対策本部・佐野 仁)	0136-23-2323(コアレックス道栄・北海道)
tokyo@corelex.co.jp(東京営業所)	090-1509-9579(東京営業所・清 一也)	044-281-1100(コアレックス三栄 東京工場)
shinei@b-web.co.jp(静岡本社)	090-2572-7137(静岡本社・石川 充好)	0545-56-2513(コアレックス信栄・静岡)

BCP(事業継続計画)基本方針

2009年10月1日 制定

- ① 災害等の発生時においては、流通・小売・一般消費者 への影響を極小化するため、業務を可能な限り継続し、また迅速に普及する事とする。
- ② 一部地域の工場で災害等が発生した場合、グループ内の安全な工場において代替生産等を行い、安定的に商品の供給が維持できるよう努力する。
- ③ 関連企業においても、協力体制を整備し、代替生産及び原料・資材等の供給及び物流が可能になるようなシステムを構築する。
- ④ 従業員及びその家族の安全を守るため、安全確保に必要な対応策に積極的に取り組む。
- ⑤ 災害等の発生後においても、現在の事業規模を必ず維持し、従業員の雇用についても引き続き継続する事とする。

連携先との共通の対応方針

関連企業のネットワークを活用する事で互いに早期復旧することを目指し、代替対応の可能性を意識した計画を立案する。

BCP対応	大規模地震	パンデミック	
災害前の対策	① 工場及び事業所の耐震確認及び補強 ■各工場、事業所建物の耐震確認を行い、強度の低いものについては、補強工事を行う ② 機械の据え付け補強、免震設備の導入 ■大規模地震が発生した際、大型機械の転倒や破損を最小限に抑えられるよう、据え付けの補強や免震設備の導入を行う ③ 避難路の策定 ■工場内に被災した場合に身の安全を確保できるよう、あらゆる被害を想定した避難路のパターンを策定する ④ 従業員の安否確認手段の統一 ■171伝言ダイヤルにて各従業員の安否状態を確認し、携帯メールによるメーリングリストにて一斉送信する ⑤ グループ各工場との連携強化 ■万一被災した場合でも代替生産ができるよう、最優先製造品目を確認した上で、品質基準等について試験するなど、グループ各工場間において、情報交換と連携の強化を徹底する ⑥ 防災連絡網 ■緊急事態発生時に指揮系統の統一と各現場での混乱を避けるために防災連絡網を作成する ⑦ 災害用備蓄 ■万一被災した場合でも、従業員や地域住民の人命と健康を確保する為に各施設で災害用備蓄を行う	① うがい、手洗い、咳エチケット、マスク着用の徹底 ■各従業員に、自分が感染しないよう、また人にうつさないよう、うがい、手洗い、咳エチケットについて徹底させる ■感染拡大が懸念される状況になった場合、全従業員に対し、マスクの着用を義務付ける ② 従業員の健康管理の徹底 ■工場周辺地域において、感染拡大がみられた場合、ミーティング時に従業員の健康状態を報告させ、体調不良のもの、発熱している者については帰宅させる ③ 従業員の家族及び関連企業等、周囲の感染状況の確認 ■家族に感染者がいる従業員は自宅待機とする ■関連企業の従業員に感染者がいる場合は、その企業の工場立ち入りを制限する ④ グループ各工場との連携強化 ■万一感染が拡大した場合でも代替生産ができるよう、最優先製造品目を確認した上で、品質基準等について試験するなど、グループ各工場間において、情報交換と連携の強化を徹底する	
	従業員の人命及び健康の確保	■避難計画に基づく避難の実施 ■防災備蓄を用いた救援活動 ■二次災害防止対策 ■ルールに従い従業員、家族の安否確認実施	■マスク着用、うがい手洗いの徹底 ■従業員の出勤制限 ■外部からの立ち入り禁止 ■イベントや営業活動等の外出の自粛
	被災・感染状況の把握	■工場建物、機械、設備、通信システム、製品等の被害状況の確認 ■各グループ企業、関連企業、物流ルート等の被害状況の確認	■各工場、事業所ごとの感染者及び家族の感染者数の確認 ■各グループ企業、関連企業、物流会社等の感染状況の確認
	代替生産及び原料・資材等の確保	■最優先製造品目の確認 ■グループ内の被災していない工場での代替生産の開始 ■被災していない地域からの古紙原料の確保及び資材の調達 ■被害状況に応じた物流ルートの構築	■最優先製造品目の確認 ■小規模工場の一時閉鎖 ■事務の簡素化 ■閉鎖した工場の感染していない従業員を東京工場及び信栄本社、道栄工場に召集し、3工場にて交代勤務を行う
	復旧作業	■各グループ企業、関連企業と協力した片付け作業 ■工場建物、機械、設備、通信システム、データ等の復旧作業 ■復旧に応じた物流ルートの再構築	■従業員及び関係者の感染者完治確認 ■第二波を予防するため、マスク着用、うがい手洗いの徹底及び外部からの立ち入り禁止、イベント等の自粛を当面の間継続
	対外的な情報発信及び情報共有	■全工場操業再開に向けた各種取引先への連絡、調整 ■古紙原料市況等に関する情報の共有	■全工場操業再開に向けた各種取引先への連絡、調整 ■関連企業での完治状況等に関する情報の共有
	平常業務（製造再開）	全工場操業再開	
	■休業時のグループ内での製造、出荷状況を再確認し、災害前の生産、出荷数量に戻す	■休業時のグループ内での製造、出荷状況を再確認し、パンデミック前の生産、出荷数量に戻す	

災害発生BCP発動！

↓

平常業務（製造再開）

CORELEXのグループ	CORELEXの事業領域	持続可能な社会への取り組み	2030年に向けた取り組み	企業統治	環境保全	社会貢献	行動憲章	BCP	プライバシーポリシー
--------------	--------------	---------------	---------------	------	------	------	------	-----	------------

プライバシーポリシー

コアレックスグループ個人情報・企業情報保護方針

コアレックスグループは、個人情報・企業情報を「情報主体者の重要な財産」と位置付け、企業情報・個人情報に関する法令及び機密保持の趣旨に則り、以下の通り宣言します。

1-1 コアレックスグループの範囲

私どもが個人情報・企業情報取扱いにおいて、「コアレックスグループ」と称する範囲は、以下の組織とします。

- コアレックス信栄株式会社（所在地：静岡県富士市）
- コアレックス三栄株式会社（所在地：静岡県富士宮市）
- コアレックス三栄株式会社 東京工場（所在地：神奈川県川崎市）
- コアレックス道栄株式会社（所在地：北海道虻田郡倶知安町）
- コアレックス道栄株式会社 富士工場（所在地：静岡県富士市）

1-2 個人情報・企業情報の取扱い

コアレックスグループでは、個人情報・企業情報を適法・適切な方法で取得し、以下の目的に限定して取り扱います。

- ① **従業員の個人情報**
労働保険・社会保険・給与計算等の事務処理
- ② **取引先の顧客管理**
製品の販売、仕入れ等にて発生する、請求書、領収書等の事務処理
- ③ **溶解処理委託をされた機密文書**
無選別・未開封のまま即時溶解処理
- ④ **その他の個人情報・企業情報**

1-3 個人情報・企業情報の保護強化

個人情報・企業情報の適切な安全管理のために、全従業員に対し個人情報・企業情報の重要性及び安全性確保のための教育を行うと共に、体制整備を図り、個人情報・企業情報の改ざん・漏えい等を防止、保護に努めます。

1-4 個人情報（顧客情報）の開示等

お客様はコアレックスグループに対し、個人情報（顧客情報）についての開示を求める事ができ、開示の結果訂正等を要する場合には、訂正等を求める事ができます。開示等を求める場合には、下記までご連絡をお願いいたします。

1-5 その他の事項

- ◎コアレックスグループは、善良なる管理者の注意義務をもって個人情報（企業情報）を管理し、第三者への無断開示、漏洩等の事故を起こさないよう万全を期します。
- ◎コアレックスグループは、個人情報（企業情報）を業務遂行する目的以外に利用しません。
- ◎個人情報（企業情報）の取り扱いについて、貴社が必要と認めた場合、業務監督を行う事について、コアレックスグループは誠意をもってこれに応ずるものとします。

個人情報・企業情報に関するお問合せ・相談窓口

コアレックスグループの個人情報・企業情報（含む開示等の請求）お問合せ・相談窓口は以下の通りです。

常務執行役員 人事企画統括 個人情報管理責任者	TEL 0545-56-2513 FAX 0545-56-2511 E-mail h-sano@b-web.co.jp
佐野 仁	

機密文書溶解処理に関する保護規定

コアレックスグループの業務である機密文書（企業情報・個人情報を含む）の溶解処理に関しては、排出元及び収集運搬業者と取り交わす契約書において、溶解処理の手順及び安全対策等を明記し、それを遵守します。また、契約書に定めて事項に違反した場合の損害賠償規定も明記します。

機密文書溶解処理手順

- ① 排出元よりコアレックスグループに搬入された機密文書については、未開封・無選別のまま即時溶解します。
- ② 機密文書溶解処理時は、処理現場を関係者以外立ち入り禁止とし、外部からの出入りを徹底管理します。
- ③ 溶解処理された機密文書は、トイレトペーパーなどの原料としてリサイクルされます。

個人情報・企業情報の利用目的

コアレックスグループは、以下の利用目的の達成に必要な範囲において、個人情報・企業情報を利用します。

- ① お客様により満足いただける紙製品の調査、開発、提供を行うため。
- ② 営業、資材の購買等の各種取引における交渉及び連絡、問合せを行うため。
- ③ お客様に対し、コアレックスグループが行うイベント、キャンペーン及びその他情報のご案内、資料送付及びお問合せへの対応のため。
- ④ 消費者キャンペーンの抽選及び賞品発送のため。
- ⑤ 各種メディア等を通じて広報活動を行う際の企画及び連絡、問合せを行うため。
- ⑥ お客様からのお問合せ、苦情に関する連絡及び対応のため。
- ⑦ 製品の運送及び加工、その他業務を外部に委託する際の交渉及び連絡、問合せを行うため。
- ⑧ 工場内の事故防止、災害防止等の安全衛生維持のため。
- ⑨ 採用選考及び入社手続き、その他採用活動に係る業務執行のため。

センシティブ情報の取り扱いについて

コアレックスグループは、以下に掲げるいずれかに該当する場合を除き、お客様のセンシティブ情報（政治的見解、思想・信条、労働組合への加盟状況、人種・民族、門地・本籍地、保健医療及び性生活等に関する個人情報）を取得、利用または第三者提供を行わないものとします。

- ① コアレックスグループが生産する製品に関する開発・調査・提供を行うことを目的とする場合で、お客様から送付されたハガキ及びアンケートの回答、並びにお客様がホームページ上で入力された情報等、お客様本人から直接個人情報を取得する場合。
- ② 法令に基づく場合。
- ③ 人の生命、身体または財産保護のために必要がある場合。
- ④ 公衆衛生の向上または児童の健全な育成の推進のために特に必要がある場合。
- ⑤ 国の機関もしくは地方公共団体またはその委託を受けた者が、法令の定める事務を遂行することに対して協力する必要がある場合。

2005年4月1日	制定
2017年4月1日	改定
2019年1月1日	改定

コアレックスグループ
個人情報管理統括責任者

黒崎 暁

Third Party Opinion

外部有識者に分析・評価していただきました。

2030年に向けたコアレックスのSDGs取り組み目標は、大変チャレンジングな頼もしい目標であり、興味深く拝見しました。

現在、どの業界でも物流の課題が顕著です。コアレックスグループが取り組んでいるノーパレット化の開発は、商品運搬量の増加が可能になるうえ、トラック便数の削減によってCO₂削減につながります。さらに生分解性包装フィルムの開発は日本が遅れていたこれからの分野への果敢な挑戦と言えます。

また、これまでも長年にわたり実施してきた啓発・貢献活動の強化は、2030年に向けて国民に求められている一人一人の意識と行動の変革へ強力な後押しになります

近年、地球上のいたるところで深刻な様々な課題が山積し、対策が急がれています。そのため2015年秋に国連がまとめたのがSDGs（持続可能な開発目標）です。目標達成年度の2030年まであと10年になりました。SDGs17の目標のうち12番目は環境問題の課題解決につながる「つくる責任つかう責任」です。この課題の解決につなげる役割として、消費者としてできる手段が「エシカル消費」です。

私たちは普段から「消費」をしながら生活をしています。健康で穏やかに過ごしている時でも、突然の自然災害により避難生活を余儀なくされた時でもトイレトペーパーやティッシュは、誰にでも必要な生活必需品です。エシカル消費と共に、まず個人の備蓄が重要と私は考えます。大規模な自然災害の発生や今回の新型コロナウイルス感染拡大による危機感やデマに惑わされて、大規模災害が起きるたびに世界中でトイレトペーパーやティッシュが店頭からなくなり品薄状態が続きます。コアレックスは過去の大規模災害時には、政府からの要請に応じる以外にも、多くの自主支援を行っています。さらに、災害時の施設利用協定など、人々の安心・安全と社会の発展に貢献する企業統治がグループ全体で長年行われており、まさしく企業の将来像です。

さらに、これまで禁忌品とされていた雑がみ類を再資源化する技術開発の導入と地域住民と連携した雑がみ類を可燃ごみにしない古紙回収の新たな仕組みづくりは、資源の枯渇化を見据えた未利用資源の有効利用の取り組みとして業界のトップランナーと言えます。結果的に技術力、生産性を国内で確保していくことにつながり大変重要なことです。他国に生産拠点を置くことによる脆弱さを今回のパンデミックで誰もが思い知らされました。

一方で私たち消費者は、エシカル消費のための最新の情報と知識を得られているでしょうか。これまで元気ネットが開催してきた「古紙リサイクル消費者懇談会」でも、最新の情報が消費者に正確に伝わっていないと感じています。消費者は日々の購買行動を通じて、環境保全・社会貢献に積極的な先駆的企業を応援できます。普及啓発の成果ほど見えにくいものはありませんが、企業と消費者のパートナーシップはSDGsを活用した新たな段階に入りました。NPOとして私たちの役割も大きいと自覚しています。

2030年に向けコアレックスの企業活動がより加速されることを期待しています。



NPO法人 持続可能な社会をつくる元気ネット
理事長 鬼沢 良子

主な外部表彰

- 1992年 「再資源化貢献企業」通産省立地公害局長賞
- 1992年 「リサイクル促進功労者」リサイクル推進功労者賞
- 1995年4月 「難再生古紙に関するリサイクル技術開発」科学技術庁長官賞 **1**
- 2010年10月 「3R推進北海道大会」北海道ゼロ・エミ大賞 **2**
- 2011年11月 環境大臣賞 **3**
- 2017年 春 「産業振興功績」黒崎暁(代表取締役)藍綬褒章
- 2018年2月 「地球温暖化防止活動」静岡県地球温暖化防止活動知事褒賞 **4**

主なステークホルダーである各種団体

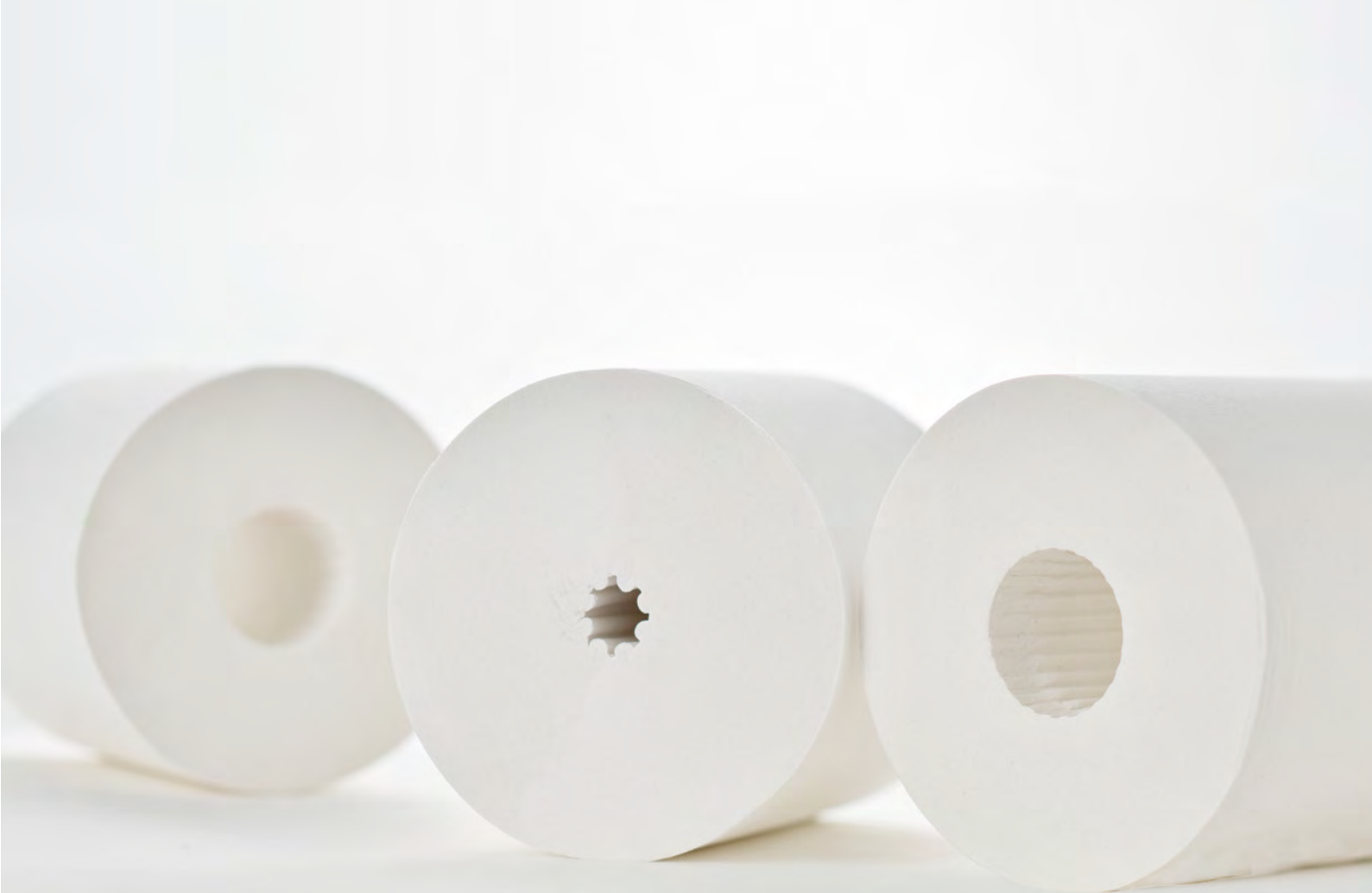
- NPO法人 持続可能な社会をつくる元気ネット
- NPO法人 集めて使うリサイクル協会
- 全国牛乳容器環境協議会
- 全国牛乳パックの再利用を考える連絡会
- 紙製容器包装リサイクル推進協議会
- 各種団体及び福祉作業所



製品案内



コアレックストイレトペーパー 60m 12ロール シングル	コアレックストイレトペーパー 35m 12ロール ダブル	プレミアムシンラF 35m 12ロール ダブル	プレミアムシンラF 35m 8ロール ダブル
プレミアムシンラ 40m 12ロール ダブル	ニュープリオールトイレトペーパー 30m 12ロール ダブル	花いっぱいトイレトペーパー 30m 12ロール ダブル	花いっぱいトイレトペーパー 30m 18ロール ダブル
ワンタッチコアレス 130m 6ロール シングル	ワンタッチコアレス 65m 6ロール ダブル	信栄コアレス 130m 6ロール シングル	信栄コアレス 65m 6ロール ダブル
CORELEXハンドタオル 360枚 (180組) 5+1個パック	水に流せるティッシュとけまるくん 400枚 (200組) 6個パック	コアレックスティッシュ 400枚 (200組) 6個パック	花いっぱいティッシュ 400枚 (200組) 6個パック



環境と使う人の
気持ちを考え抜いた
ものづくりの国のクオリティ

- 資源の限られた国だから再生紙
- 自然を大切にする国だから環境配慮
- 災害の多い国だから安定供給
- 衛生品だから安心の国内製造

いつも使うものだからこそ、環境にも品質にもこだわり抜く。

資源ロスの少なさと使い心地の良さを追求した幅広い製品ラインアップで、

毎日安心してお使いいただける、「にっぽんの暮ら紙」をお届けします。

CORELEX

製品ラインアップは
オンラインショップ
をご覧ください。